

分科会開催報告書

報告日 令和3年 2月 4日(木)	報告者 小 幡 友 子
分科会名 浮 雲 俳 句 会	開催テーマ 143回浮雲俳句会
開催日時 令和3年 1月 31日(日) 午前9時30分～午前11時30分	開催場所 能見台地区センター多目的室—A—
参加人数 “わ”の会会員 男11名 女6名 合計17名 欠席者0名	

実施内容

第143回例会は、兼題①金沢城②時候(晩冬)。他に当季雑詠2句。計4句。句会は、大川一馬会員による添削披露及び、小俣一柧会員による選句の披講の後、北野主宰から、天・地・人賞と、特選5句、佳作9句の発表と夫々の句についての論評があった。

天賞句	飼ひ慣れし丹頂飛翔忘れしか	あきえ
地賞句	厳冬の木々渡るこゑ栗鼠あはれ	和 女
人賞句	冬ざれや波打ち砕け空に舞ふ	一 柧
特選句	靴と傘庭いっぱい春隣	國 眼
	寒の間明くを待ちわぶ辛丑	重 九
	竜の玉百寿の恩師逝き給ふ	とも女
	寒月にひと声残し暁鴉	十 九
	牡蠣鍋や旧姓飛び交ふ同窓会	春 駒

会員高点句

7点句	砂利冴えて伊勢神宮の四手白し	一 馬
7点句	寒晴やポプラの影はみな尖り	二 祥
5点句	雪しまく会津赤べこ疫背負ふ	一 幸

次回の予定

令和3年2月28日(日) 午前9時30分～午前11時30分

第144回例会は、能見台地区センター多目的室—A—

「第144回例会」は、兼題①松山城②天文(初春)他に当季雑詠2句。合計4句。

披講片岡三洋会員